

碧南民報 サンデー版

2019年5月19日
NO.1994
日本共産党碧南市委員会
碧南市笹山町3-13-10
電話・FAX/42-8706

身近かに役立つ
日本共産党生活相談所
山口はるみ ☎42-8940 FAX 41-9904
岡本 守正 ☎41-5357 FAX 46-1595
磯貝 明彦 ☎・FAX 48-2718

勤労青少年水上スポーツセンター内 筋トレルーム60 くるくるバスの乗り入れを



水上スポーツセンター。上部はホテル。1階の一部が筋トレルーム。前面はロータリー

内覧会に50名

5月14日、西端地域にある（湖西町5-59）勤労青少年水上スポーツセンター内筋トレルーム60の内覧会が行われました。市関係者、老人クラブの役員さんなど、50名が参加しました。正式には5月21日から開所します。

5月3日から、利用者登録を開始しており120名ほどが集まっています。今後も随時受付を行います。東部プラザ、あおいパークに続く3カ所目です。

機器も充実

あおいパークと同じ、6種の機器を巡回するサーキットトレーニング。ウォーキング、エアロバイク、ウエイトトレーニング4種など機器も充実しています。他にリラクゼーションルームは、ゆったりイスでくつろげます。

くるくるバスを乗り入れて

水上スポーツセンターには、ホテル（シングル43室2食付5,700円。ツイン19室2食付5,400円）申し込みは、**電話48・1110**（）や温水プール（高校生以上500円）。100名収容のホールなどあります。1階の1室を無償で市が借り、機器を設置して60歳以上が無料で利用できる「筋トレ60」としました。

玄関前には、ロータリーがつくられており

筋トレルームお問合せは

たれタめに者スぱかス所油す容く



幼保「無償化」に各紙批判 安心・安全おざなり

保育はもつげのためではな
い

自公などの賛成多数で10日の参院本会議で可決・成立した、幼児教育・保育の一部を「無償化」する改定「子ども・子育て支援法」について、保育の安心・安全がおざなりとの不安の声が広がり、新聞各紙も11日付の紙面で批判的な論調で報じました。

基準以下の認定外園にも公的給付

「毎日」は「子育て支援 見切り発車」との見出しをとり、認可外保育施設指導監督基準を満たさない施設も5年間、公的給付の対象としたことなどを取り上げ、「大きな課題が『保育の質の確保』だ」と問題視。「朝日」も「幼保無償化 遅れる安全」として、認可外保育施設の指導監督強化の実効性が不透明なことを指摘しています。

保育士不足に拍車

「東京」は「保育士不足に拍車 懸念」として、保育士の処遇改善が進んでいない点や自治体の事務負担が増えることへの懸念をあげました。

「読売」は「子育て世帯の経済的な負担が軽減される一方、ニーズの増加で、教育・保育の質低下や保育士不足の深刻化を懸念する声もある」と指摘。「産経」は「安全確保 拭えぬ不安」として、社会面で認可外保育施設での事故で子どもを亡くした当事者の不安を紹介しました。

国民要求とのズレ

安倍内閣が看板政策として掲げる「幼児教育・保育無償化」が、保護者や保育現場が求める政策とズレていることへの懸念が、法律成立直後から早くも噴き出した形です。

GW 大型連休 4 公共施設に20万人入場

10日間の連休となった今年のゴールデンウィーク。碧南市の4つの公共施設に20万人が訪れました。昨年度と比べて3